

明治初期の兵庫のローカル英字新聞記事に見る在日外国人医師名

石田純郎

明治初期のお雇い外国人医師についての調査をする時に困る事は、国の内外における基礎資料の乏しさである。

兵庫で明治維新直後に発刊された、ヒョーゴ・アンド・オースカ（ヘラルド及びヒョーゴ・ニュースという二種の英字週刊新聞が保存されている事を知り、この程それを見聞する機会を得た。

The Higo and Osaka Herald⁽¹⁾は、週刊新聞で、創刊一八六八年一月四日、廃刊一八七五年で、A・T・ワトキンスが発行。一八六九年一月九日～一八七〇年三月二六日まで神戸市蔵、一八六八年一月～一八七〇年十二月まで天理大学図書館蔵、オーストラリア国立図書館にも蔵。

The Higo News⁽¹⁾は週刊又は週二回発行で、創刊一八六八年五月十五日、廃刊一八九九年二月で、ポルトガル人フィロメリ・ブラガにより創刊。一八九九年二月にコーベ・クロニクルに買収された。一八七一年一月四日～一八七一年十二月三〇日まで神戸市蔵、一八八八年一月～一八八八年十二月まで天理大学図書館蔵、オーストラリア国立図書館には全号蔵。⁽²⁾

主な記事の内容としては、貿易や商業に関するものであるが、我々の注意をひく記事としては、当時兵庫港を発着した客船の乗

客名簿がある。別表の如く、その中には少なからず医療関係者の名前がみえる。

明治初期のお雇い外国人の出入国の年月日、国内での移動の年月日は、現在迄に充分明らかになってはいえず、その点に関してこの資料は重大なヒントになるものと確信する。

尚多勢の一般外国人乗客の中より医師を選び出す基準としては、Dr. のついている者、その家族、親戚、その当時の在日外国人医師と同名の者をとりあげた。従って一人一人の医師の履歴と照合したわけではないので、同名異人の混入、医師以外の博士の混入もあると考えられるし、又名簿で Dr. をつけわすれた医師の遺漏も考えられる。また明らかな誤植と思われる名前の綴りのミスも、そのまま記録した。

今回は神戸市蔵の記録のみから収録したが、今後はより完全な記録をもつオーストラリア国立図書館の調査も必要となる。

おわりに原資料閲覧の機会を与えて下さった、新修神戸市史編集室（中央区役所内）洲脇一郎氏に深謝する。

文獻

(1) ヒョーゴアンドオースカヘラルド (一) 神戸の歴史 七四頁
四号 一九八一

(2) 編集後記 神戸の歴史 九七頁 六号 一九八二

三菱水島病院小児科

兵庫港発着の外国人医師名簿 I.

ヒューゴ アンド オーサカ ヘラルドより

1869. 1. 13 (50号)~1870. 3. 26 (117号)

| 名 前 | 船 名 | 乗船地又は下船地 | 日 時 |
|---------------------|--------|----------|--------------|
| D. Bauduin | ニューヨーク | 横浜より | 1869. 2. 15 |
| Dr. Jones | ニューヨーク | 横浜より | 1869. 5. 2 |
| Dr. Ross | ニューヨーク | 上海へ | 1869. 5. 3 |
| Dr. Coghill | コスタリカ | 横浜へ | 1869. 5. 25 |
| Dr. Clay | コスタリカ | 横浜へ | 1869. 5. 25 |
| A. J. Bauduin | ニューヨーク | 横浜から | 1869. 7. 31 |
| Dr. Bauduin | コスタリカ | 長崎・上海から | 1869. 9. 23 |
| Dr. Siebold | コスタリカ | 上海へ | 1869. 10. 11 |
| Dr. and Mrs. Prinse | コスタリカ | 上海へ | 1869. 10. 11 |
| Mr. Bauduin | ネパール | 長崎から | 1869. 10. 30 |
| Dr. Willis | 富士山 | 横浜から | 1870. 1. 10 |
| Dr. O'Leavy | ? | 横浜へ | 1870. 1. 下旬 |

日時は乗船又は下船の時点のもの(太陽暦)名前、肩書は原文のまま

兵庫港発着の外国人医師名簿Ⅱ

ヒューゴ ニュースより

1871. 1. 4. (218号)~1871. 12.30 (321号)

| 名 前 | 船 名 | 乗船地又は下船地 | 日 時 |
|--|----------|-----------|------------|
| Dr. and Mrs. Slouyos | オレゴニアン | 横浜より | 1871. 2.25 |
| Dr. Maanvelt | ゴールデンエイジ | 上海・長崎より | 1871. 2.25 |
| Dr. Elliot | ゴールデンエイジ | 横浜より | 1871. 4.15 |
| Beukema | ニューヨーク | 横浜より | 1871. 5.3 |
| Dr. Tayler, Messrs Tayler | ゴールデンエイジ | サンフランシスコへ | 1871. 5.3 |
| Dr. Gratama | ゴールデンエイジ | 上海へ | 1811. 5.10 |
| Dr. E. Bretshunden | ニューヨーク | 横浜へ | 1811. 5.17 |
| Dr. C.E. Kiekelly | ニューヨーク | 横浜へ | 1871. 5.17 |
| Dr. and Mrs. Bredenmeyer and Miss Bredenmeyer | ア デ ン | 横浜から | 1871. 6.3 |
| Dr. Newton, R. N. | オレゴニアン | 長崎へ | 1871. 6.17 |
| Dr. Piza | コスタリカ | 横浜へ | 1871. 7.5 |
| Mr.and Mrs.Von der Heyde | コスタリカ | 横浜へ | 1871. 7.5 |
| Dr. Ritter | オレゴニアン | 横浜へ | 1871. 8.5 |
| Dr. W. Reid | アリゾナ | 横浜へ | 1871. 8.19 |
| Dr. Ritter | アリエル | 横浜より | 1871. 8.23 |
| F. de Ruyter | コスタリカ | 横浜より | 1871. 9.23 |
| A.J. Bauquin | コスタリカ | 長崎へ | 1871. 9.23 |
| A.J. Bauquin | ニューヨーク | 長崎より | 1871.10.18 |
| Dr. and Mrs. Hepburn | オレゴニアン | 横浜より | 1871.11.8 |
| Dr. Hozier | オレゴニアン | 横浜より | 1871.12.2 |
| Dr. R.H. Towler | ニューヨーク | 長崎へ | 1871.12.9 |

日時は新聞発行日、従って実際はそれより0~7日程度前と推定される(太陽暦)

名前、肩書は原文のまま